

2021年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	神戸電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	33 百万円
--------	--------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	駅 番線	
エレベーター	駅 基	
エスカレーター	駅 基	
スロープ	駅 ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅 番線	
段差隙間縮小に資する設備	駅 番線	
バリアフリースイレ	駅 ヶ所	
車両のフリースペース	編成 両	
その他	駅	
備考		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	0 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	0	0	0
備考			

本年度までの累計整備費	33	百万円
本年度までの累計徴収額	0	百万円

2021年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備駅名
ホームドア	駅	番線	百万円
エレベーター	駅	基	百万円
エスカレーター	駅	基	百万円
スロープ	駅	ヶ所	百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線	百万円
段差隙間縮小	駅	番線	百万円
バリアフリースイレ	駅	ヶ所	百万円
車両のフリースペース	編成	両	百万円
その他	駅		百万円
備考			
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備駅名
ホームドア	駅	番線	百万円
エレベーター	駅	基	百万円
エスカレーター	駅	基	百万円
バリアフリースイレ	駅	ヶ所	百万円
車両	編成	両	百万円
その他	駅		百万円
備考			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			
維持管理費(※)	33		百万円
収受システム改修費			百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			百万円
備考	※エレベーター、エスカレーターの維持管理		

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	0番線	0%	1駅	100%	0駅	0%
累計	0番線	—	1駅	100%	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	0駅	0%	0番線	0%
2027年度	0番線	0%	1駅	33%	0番線	0%
2028年度	0番線	0%	1駅	66%	0番線	0%
2029年度	0番線	0%	0駅	66%	0番線	0%
2030年度	0番線	0%	1駅	100%	0番線	0%
累計	0番線	—	3駅	100%	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2022年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	神戸電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	189 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	駅 番線	
エレベーター	駅 基	
エスカレーター	駅 基	
スロープ	駅 ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅 番線	
段差隙間縮小に資する設備	駅 番線	
バリアフリースイッチ	駅 ヶ所	
車両のフリースペース	編成 両	
その他	1 駅	大池駅
備考	※その他 筆談対応インターホン（1駅）	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	0 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	0	0	0
備考			

本年度までの累計整備費	223	百万円
本年度までの累計徴収額	0	百万円

2022年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数	整備駅名	整備費
ホームドア	駅 番線		百万円
エレベーター	駅 基		百万円
エスカレーター	駅 基		百万円
スロープ	駅 ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅 番線		百万円
段差隙間縮小	駅 番線		百万円
バリアフリースイレ	駅 ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成 両		百万円
その他	1 駅	大池駅（新規着手）	3 百万円
備考	※その他 筆談対応インターホン（1駅）		
(2) 更新費			
設備名	整備数	整備駅名	整備費
ホームドア	駅 番線		百万円
エレベーター	駅 基		百万円
エスカレーター	2 駅 3 基	谷上駅（新規着手） 岡場駅（新規着手）	45 百万円
バリアフリースイレ	駅 ヶ所		百万円
車両	編成 両		百万円
その他	駅		百万円
備考			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費(※1)	33	百万円	
収受システム改修費		百万円	
その他費用(※2) (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	108	百万円	
備考	※1 エレベーター、エスカレーターの維持管理 ※2 その他 駅務機器（券売機・改札機等）、駅頭表示（運賃表）改修費		

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	0番線	0%	1駅	100%	0駅	0%
累計	0番線	—	1駅	100%	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	0駅	0%	0番線	0%
2027年度	0番線	0%	1駅	33%	0番線	0%
2028年度	0番線	0%	1駅	66%	0番線	0%
2029年度	0番線	0%	0駅	66%	0番線	0%
2030年度	0番線	0%	1駅	100%	0番線	0%
累計	0番線	—	3駅	100%	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。